



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本信号株式会社

コード番号 6741 URL http://www.signal.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 降旗 洋平

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 田口 誠 TEL 03-3217-7200

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,358	△9.2	△1,306	ー	△975	ー	△859	ー
25年3月期第1四半期	12,504	3.0	△1,196	ー	△1,000	ー	△857	ー

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △653百万円 (ー%) 25年3月期第1四半期 △795百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△13.77	ー
25年3月期第1四半期	△13.75	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	92,920	61,731	60.3
25年3月期	111,058	62,954	51.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 56,035百万円 25年3月期 57,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	5.00	ー	8.00	13.00
26年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
26年3月期(予想)	ー	5.00	ー	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	0.5	200	185.5	500	46.3	0	ー	0.00
通期	87,000	1.9	6,000	18.1	6,500	8.0	3,300	5.2	52.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	62,448,052株	25年3月期	62,448,052株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	48,481株	25年3月期	48,481株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	62,399,571株	25年3月期1Q	62,399,576株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクスへの期待から株価の回復や円安の進行が続き、個人消費や企業収益に回復が見られるものの、電力問題や欧州の債務危機、新興国経済の成長率の鈍化による経済減速の不安から、先行きの見通しについては依然として不透明な状況となっております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、ATS(自動列車停止装置)・ATC(自動列車制御装置)などの鉄道信号保安設備や自動改札機、自動券売機などの駅務機器、及びその他事業分野において営業活動を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における受注高といたしましては、17,442百万円(前年同期比5.5%増)となりましたものの、売上高につきましては11,358百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

損益面の成績といたしましては、当社グループの業態として、年間の売上高の多くが第4四半期に集中する傾向があります。その結果、975百万円の経常損失(前年同期は1,000百万円の経常損失)、859百万円の四半期純損失(前年同期は857百万円の四半期純損失)となりましたが、営業成績としてはほぼ計画どおりに進捗しております。

セグメント別の状況といたしましては、以下のとおりです。

「交通運輸インフラ事業」におきましては、「鉄道信号」では、ATS・ATCなどの信号保安設備をはじめとする各種案件、「交通情報システム」では、LED式信号灯器、制御装置等各種機器の受注・売上がありました。

その結果、受注高につきましては8,116百万円と前年同期比19.1%の減少、売上高につきましては5,310百万円と前年同期比18.7%の減少となりました。

また、損益面では、255百万円のセグメント損失(前年同期は13百万円のセグメント利益)となりました。

「ICTソリューション事業」におきましては、「駅務自動化装置を中心とするAFC」では、自動改札機、自動券売機等の各種機器の更新案件、「駐車場システムを中心とした制御機器」では、駐車場事業者の旺盛な投資意欲を受け、パークロックシステムをはじめとした駐車場管理システムの受注・売上がありました。

その結果、受注高につきましては9,325百万円と前年同期比43.2%の増加となり、売上高につきましても、6,047百万円と前年同期比1.2%の増加となりました。

また、損益面では、377百万円のセグメント損失(前年同期は508百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、たな卸資産の増加4,363百万円などがありましたものの、受取手形及び売掛金の減少23,775百万円などにより18,138百万円減少し、92,920百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少11,493百万円、支払手形及び買掛金の減少2,463百万円、また未払法人税等の減少2,416百万円などにより、前連結会計年度末に比べ16,915百万円減少の31,188百万円となりました。

純資産は、当第1四半期純損失859百万円の発生及び配当金の支払499百万円等により前連結会計年度末に比べ、1,223百万円減少の61,731百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は9,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加や仕入債務の減少等がありましたものの、売上債権の大幅な減少により12,982百万円の資金の増加(前年同期は4,700百万円の資金の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産、無形固定資産の取得により、166百万円の資金の減少(前年同期は206百万円の資金の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済、配当金の支払等により、12,463百万円の資金の減少(前年同期は5,798百万円の資金の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正はありません。

当社グループの主要事業のうち、「鉄道信号」、「交通情報システム」および「駅務自動化装置を中心とするAFC」につきましては、主要顧客である国内鉄道各事業者の設備投資や、警察等の公共投資が中心となっているため、当社グループの売上の比重は期末に高くなる傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末(年度末又は第2四半期連結会計期間末)までにほぼ解消が見込まれるため、当第1四半期連結会計期間末では、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,455	9,835
受取手形及び売掛金	44,274	20,499
有価証券	25	28
商品及び製品	5,641	6,411
仕掛品	12,043	15,445
原材料及び貯蔵品	3,970	4,162
繰延税金資産	3,825	3,859
その他	798	1,540
貸倒引当金	△11	△2
流動資産合計	80,024	61,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,605	4,558
機械装置及び運搬具（純額）	521	505
工具、器具及び備品（純額）	746	757
土地	5,782	5,782
リース資産（純額）	4	3
建設仮勘定	17	87
有形固定資産合計	11,678	11,695
無形固定資産	1,369	1,237
投資その他の資産		
投資有価証券	15,503	15,712
長期貸付金	13	13
繰延税金資産	187	185
その他	2,332	2,344
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	17,986	18,206
固定資産合計	31,034	31,139
資産合計	111,058	92,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,027	11,563
短期借入金	12,500	1,006
リース債務	3	3
未払法人税等	2,592	176
賞与引当金	2,471	1,257
役員賞与引当金	135	35
完成工事補償引当金	3	3
受注損失引当金	524	633
その他	5,795	6,423
流動負債合計	38,053	21,100
固定負債		
長期未払金	192	172
リース債務	1	1
繰延税金負債	2,414	2,466
退職給付引当金	7,304	7,323
役員退職慰労引当金	138	124
固定負債合計	10,050	10,087
負債合計	48,103	31,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,846	6,846
資本剰余金	5,303	5,303
利益剰余金	38,134	36,776
自己株式	△23	△23
株主資本合計	50,260	48,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,969	7,132
その他の包括利益累計額合計	6,969	7,132
少数株主持分	5,724	5,696
純資産合計	62,954	61,731
負債純資産合計	111,058	92,920

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	12,504	11,358
売上原価	10,646	9,601
売上総利益	1,858	1,757
販売費及び一般管理費	3,055	3,064
営業損失(△)	△1,196	△1,306
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	117	126
生命保険配当金	113	101
貸倒引当金戻入額	12	8
為替差益	—	85
その他	101	17
営業外収益合計	345	340
営業外費用		
支払利息	13	7
為替差損	105	—
その他	30	1
営業外費用合計	149	9
経常損失(△)	△1,000	△975
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
投資有価証券評価損	43	—
特別損失合計	44	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,045	△977
法人税等	△219	△171
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△825	△806
少数株主利益	32	52
四半期純損失(△)	△857	△859

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主利益	32	52
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△825	△806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	153
その他の包括利益合計	30	153
四半期包括利益	△795	△653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△826	△695
少数株主に係る四半期包括利益	31	42

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,045	△977
減価償却費	390	353
固定資産除売却損益 (△は益)	0	1
受取利息及び受取配当金	△117	△127
支払利息	13	7
売上債権の増減額 (△は増加)	14,898	23,775
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,251	△4,363
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,744	△2,488
前受金の増減額 (△は減少)	90	78
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△92	19
その他	△1,847	△909
小計	5,293	15,370
利息及び配当金の受取額	117	127
利息の支払額	△13	△7
法人税等の支払額	△697	△2,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,700	12,982
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△42	△18
定期預金の払戻による収入	26	21
有形固定資産の取得による支出	△172	△149
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△39	△20
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	26	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,300	△11,468
関係会社からの預り金による純増減額	—	△30
関係会社以外からの預り金による純増減額	—	△400
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△436	△493
少数株主への配当金の支払額	△60	△70
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,798	△12,463
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,345	385
現金及び現金同等物の期首残高	6,602	9,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,256	9,744

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通運輸 インフラ事業	I C T ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,529	5,975	12,504	—	12,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,529	5,975	12,504	—	12,504
セグメント利益又は損失(△)	13	△508	△494	△702	△1,196

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△702百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通運輸 インフラ事業	I C T ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,310	6,047	11,358	—	11,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,310	6,047	11,358	—	11,358
セグメント損失(△)	△255	△377	△632	△674	△1,306

(注) 1. セグメント損失の調整額△674百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損失は四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。